



報道機関 各位

記者発表資料
令和4年9月8日（木）
問い合わせ先：岩槻人形博物館
副館長：岩崎
担当：池田、清水
電話：749-0223

さいたま市岩槻人形博物館

岩槻における人形作りをテーマとした初の展覧会

特別展「人形作り いろはの“い”～後世に伝えたい桐塑^{とうそ}の技～」を開催します

岩槻人形博物館では、令和4年9月23日（金・祝）から12月4日（日）まで、特別展「人形作り いろはの“い”～後世に伝えたい桐塑の技～」を開催します。

今回の特別展は、「人形のまち」岩槻における人形作りをテーマとした初めての展覧会で、開催期間中は、岩槻人形博物館周辺の店舗等において、昭和期の岩槻の風景さながらの巻藁に挿した桐塑頭の飾り、特別展に合わせて開発された桐塑頭をモチーフにした和菓子の販売など、地域の皆様と連携した取組を予定しています。

この機会に岩槻にお越しいただき、当館の特別展をご覧ください。

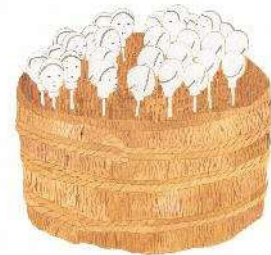
【概要 特別展「人形作り いろはの“い”～後世に伝えたい桐塑の技～」】

当館のあるさいたま市岩槻区は日本有数の人形産地として知られています。桐塑とは、桐の粉と生麩糊（糊の一種）を粘土状に練って作った素材のことで、伝統的な製作技法として受け継がれてきました。

人形の作り方はあまり知られていませんが、種類や時代によって技法や素材はさまざま、とても奥深い世界です。

本展では、人形作りをテーマとする展覧会として、桐塑生地を型抜きして作られた人形の頭である桐塑頭の展示を始め、岩槻の職人の熟練の技を、ワークショップなどでもご紹介します。

※詳細は別紙資料（次頁以降）をご参照ください。



〈巻藁に刺した桐塑頭〉

【プレス内覧会（プレス関係者限定で実際の展示作品を公開）】

日時：9月22日（木）13時から

内容：学芸員による展示解説、桐塑頭菓子の試食会ほか

※詳細は別紙資料（次頁以降）をご参照ください。

人形作りをテーマとする展覧会の第一弾

さいたま市岩槻人形博物館

特別展「人形作り いろはの“い”～後世に伝えたい桐塑^{とうそ}の技～」を開催

開催期間:2022年9月23日(金・祝)～12月4日(日)

場所:さいたま市岩槻人形博物館(埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1)

岩槻人形博物館では、特別展「人形作り いろはの“い”～後世に伝えたい桐塑^{とうそ}の技～」を令和4年9月23日(金・祝)から12月4日(日)まで開催します。

当館のあるさいたま市岩槻区は日本有数の人形産地として知られています。桐塑とは、桐の粉と生麩糊(糊の一種)を粘土状に練って作った素材のことで、伝統的な製作技法として受け継がれてきました。

人形作りは、種類や時代によって技法や素材はさまざま、とても奥深い世界です。本展では人形作りをテーマとする展覧会の第一弾として、桐の粉を材料として作る人形の頭である桐塑頭の展示をはじめ、岩槻の職人の熟練の技をワークショップなどでもご紹介いたします。

講演会は、10月23日(日)に埼玉民俗の会の内田幸彦氏をお呼びして「桐塑を用いた人形作りの技 一職人技の在処」を、11月5日(土)に東京藝術大学大学院美術研究科教授の荒井経氏をお呼びして「伝統的な日本の色材 一胡粉を中心に」を開催します。ワークショップは、ゲストティーチャーに岩槻の頭師である松ロー栄氏をお呼びして、10月15日(土)に「なかのヒミツ 桐塑編」、11月12日(土)に「はだのヒミツ 胡粉編」を開催します。

また、本展会期中は着物でご来館いただくと観覧料が無料になるキャンペーンを実施いたします。ぜひこの機会に着物で当館をお楽しみください。

【主な展示資料】



桐塑頭の完成品 松ロー栄製作 個人蔵



内裏雛 大塚正男製作 個人蔵

【本件に関する記事・報道のお問い合わせ】

さいたま市岩槻人形博物館広報事務局(共同ピーアール内 担当:松川・田ヶ谷)
TEL: 070-4303-0744 / FAX: 050-3737-6661 E-mail:i.ningyo-pr@kyodo-pr.co.jp



桐塑頭の工程品
大塚正男製作 当館蔵

【開催概要】

展覧会名：「人形作り いろはの“い”～後世に伝えたい桐塑^{とうそ}の技～」

開催期間：2022年9月23日(金・祝)～12月4日(日)

展示内容：見て知って触れる展示

- 桐塑頭のハンズオン展示
- 工房再現展示(映像あり)

※資料(桐塑頭が完成するまでの工程品、内裏雛(大塚正男製作)、人形作りの材料や道具)

【さいたま市岩槻人形博物館 施設概要】

所在地：〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1

電話番号：048-749-0222

開館時間：9:00～17:00(観覧受付は閉館30分前まで)

休館日：毎週月曜日(休日は開館)、12月28日から1月4日

観覧料：本展会期中の特別料金

種別	個人	団体(20人以上)	年間パスポート(個人)
一般	400円	250円	1,030円
高校生・大学生・65歳以上	200円	150円	510円
小学生・中学生	150円	50円	300円

交通案内：電車をご利用の場合：東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分

車をご利用の場合：東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分

駐車場：無料30台

公式HP：<https://ningyo-muse.jp/>

メディアの皆様へ

【チケットプレゼント】

本展の開催に際して、読者様向けに招待チケットをご用意しました。枚数に限りはありますが、ご希望の方は、広報事務局までご連絡ください。

【プレス内覧会】

プレス内覧会では、開催に先駆けて、プレス関係者限定で実際の展示作品を公開します。

ご出席いただける場合には**9月21日(木)17:00まで**に別添参加申込書に必要事項をご記載の上、FAXまたはメールにてご返信いただきますようお願いいたします。

プレス内覧会概要

日時：9月22日(木)13:00～14:30(受付：12:50～)

会場：さいたま市岩槻人形博物館(さいたま市岩槻区本町6-1-1)
東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分

内容：学芸員による展示解説、桐塑頭菓子^{とうそ}の試食会ほか

【割引サービス】

1 「岩槻人形博物館」「にぎわい交流館いわつき」「いわつきポイントカード事業協同組合」相互割引

概要: 岩槻人形博物館及びにぎわい交流館いわつきの認知度向上・来館促進、地域の活性化のため、3者が連携して割引を実施しています。

内容1: 加盟店⇒博物館

いわつきポイントカード事業協同組合の「たまぼんカードの提示」または「加盟店で500円以上を購入するともらえる割引券の使用」により、岩槻人形博物館を「割引料金(団体料金)」で入館できます。

(例) 一般 400円⇒250円 高校生・大学生・65歳以上 200円⇒150円 小学生・中学生 150円⇒50円

※本展会期中の特別料金(展覧会により観覧料が異なる場合あり) ※割引券は翌日まで有効

内容2: 博物館⇒割引協力店

岩槻人形博物館の「年間パスポートまたはチケット半券の提示」により、割引協力店にて様々なサービス提供を受けることができます。

※年間パスポート以外のチケットは、観覧日(スタンプの日付)の当日に限り有効です。

(例) 料亭でのソフトドリンクサービス 駐車場2時間無料 たまぼんポイント2倍

1,000円以上のお買上でカステラ1個プレゼント ヨーロッパ野菜10%割引

内容3: にぎわい交流館⇒博物館

岩槻人形協同組合との連携で、にぎわい交流館いわつきの「体験イベント」のうち「当館連携事業になっているものへの参加」により、特別展開催期間中、岩槻人形博物館を無料で入館できます。

「それ以外の体験イベントへの参加」によっても、当日に限り「割引料金(団体料金)」で入館できます。

割引提携先: 東横イン・いわつきポイントカード事業協同組合

2 当館イベント等への参加による割引

内容1: 着物で岩槻 着物で岩槻人形博物館に来館すると観覧料が無料になります。

内容2: 講演会等への参加 当館で開催する講演会及びワークショップに参加すると観覧料が無料になります。

【その他】

1 桐壱頭をモチーフにした和菓子の開発・販売

特別展にあわせ、「武州岩槻町屋のれん会」が、新たな和菓子を開発し、販売します。

概要 桐壱頭をイメージし、人形の「頭」の形をした桃山(様々なあん入り)が、串にささっています。9月23日の販売開始に先駆けて、22日のプレス内覧会で、商品名の発表及び試食会を実施

※武州岩槻町屋のれん会

岩槻人形博物館の来館者に岩槻のまち歩きを楽しんでもらいたいとの考えを持つ事業者により、令和3年2月に結成される。今回の開発・販売者: 5店(田中屋本店、時乃鐘田中屋、藤宮製菓、磯崎家宗庵、秋月)

写真はイメージ(現在開発中)



2 巻藁に挿した桐壱頭の飾り

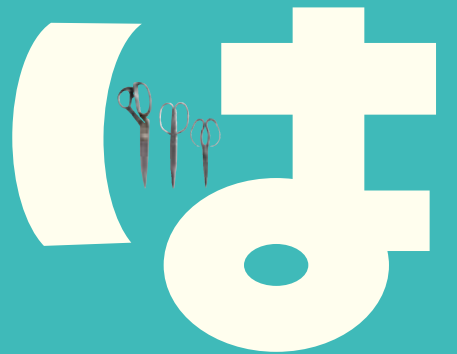
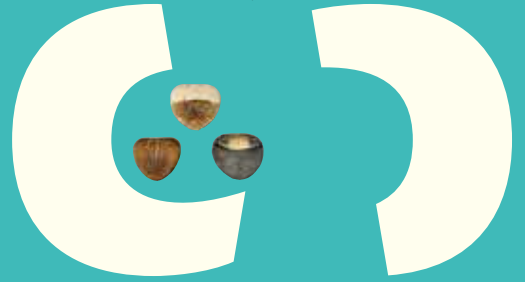
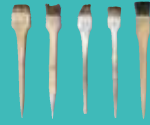
特別展にあわせ、「武州岩槻町屋のれん会」を始めとする岩槻人形博物館周辺の店舗等において、昭和期の岩槻の風景さながらの巻藁(巻藁に挿した桐壱頭)を飾ります。

〈特別展〉

人形作り



後世に
伝えたい
桐塑の技



Special Exhibition: Making Ningyo
The Toso Technique, a Tradition to Be Handed Down

2022

9.23 [金・祝] - 12.4 [日]

休館日: 月曜日 * 10月10日 [月・祝] は開館

開館時間: 午前9時~午後5時 * 入館は閉館時刻の30分前まで

観覧料: 一般 400円 (250円)、高校生・大学生・65歳以上 200円 (150円)、小学生・中学生 150円 (50円)

* () 内は20名以上の団体料金。* 障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。

* 特別展の観覧券で、常設展示室もご覧いただけます。

主催: さいたま市岩槻人形博物館

〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1 Tel. 048-749-0222 Fax. 048-749-0225 <https://ningyo-muse.jp/>

右上から おすべらかしの型・木型 当館蔵/人形製作風景/ハサミ 当館蔵/頭の原型 個人蔵

中上から 「近世職人尽絵詞」中巻(部分) 楸形憲齋画 東京国立博物館蔵【展示期間: 9月23日~11月6日】 Image: TNM Image Archives

刷毛 個人蔵/釜 個人蔵/頭の桐塑生地 当館蔵

左上から 内裏雜 大塚正男製作 個人蔵/櫛・ブラシ 個人蔵/作業台 当館蔵

イラスト 菅澤真衣子



岩槻人形博物館
IWATSUKI NINGYO MUSEUM

人形ってどうやって作るの？

私たちにとって身近な存在である人形。しかし、その作り方はあまり知られていないのではないのでしょうか。人形の種類や時代によっても技法や素材は様々あり、とても奥深いものです。さいたま市岩槻区は日本有数の人形産地として知られ、伝統的な製作技法である桐塑の技が受け継がれてきました。本展では、人形作りをテーマとする展示会の第一弾として桐塑頭を紹介し、人形に欠かせない材料に関するワークショップも開催します。見て知って触って！どうぞお楽しみください。

桐塑ってなに？

桐の粉と生麩糊（糊の一種）を粘土状に練って作った素材を桐塑といい、桐塑生地を型抜きして作られた人形の頭を桐塑頭と呼びます。ほとんどの工程を手作業で行う桐塑頭には、熟練した職人の技が光ります。



桐塑頭の工程品 大塚正男製作 当館蔵

関連イベント

① 講演会 会場：当館会議室 参加費：無料
定員：各回30名 ＊応募者多数の場合は抽選

- ①「桐塑を用いた人形作りの技 一職人技の在処^{ありか}」
講師：内田幸彦氏（埼玉民俗の会会員）
日時：10月23日〔日〕午後2時～3時30分
締切：9月26日〔月〕 ＊消印有効
- ②「伝統的な日本の色材 一胡粉を中心に」
講師：荒井経氏（東京藝術大学大学院美術研究科教授）
日時：11月5日〔土〕午後2時～3時30分
締切：10月10日〔月・祝〕 ＊消印有効



「今様職人尽歌合」上巻（部分）
銀形憲齋画 文政8年（1825）
埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵
【展示期間：9月23日～10月23日】



「近世職人尽絵詞」中巻（部分） 銀形憲齋画 文化2年（1805）頃 東京国立博物館蔵
【展示期間：9月23日～11月6日、左記以降はパネル展示】
Image: TNM Image Archives

② ワークショップ「にんラボ特別編」

見て、触って、聞いて・・・時にはニオイをかいでみたり?! 五感を使う実験・体験型ワークショップ、にんラボ。今回は大人も参加OK。特別展スペシャルバージョンとして開催します。



桐塑頭の完成品 松口一栄製作 個人蔵

内容：①なかのヒミツ 桐塑編 ②はだのヒミツ 胡粉編
日時：①10月15日〔土〕、②11月12日〔土〕
各回午後1時30分～3時
ゲストティーチャー：①②松口一栄氏（頭師）
会場：当館会議室
参加費：200円
対象：小学3年生以上
定員：各回16名 ＊応募者多数の場合は抽選
締切：① 9月12日〔月〕
②10月10日〔月・祝〕 ＊消印有効

常設展示情報

展示室1「埼玉の人形作り」と、所蔵品の様々な人形を紹介する展示室2「コレクション展示 日本の人形」があります。ウェルカムケースには西澤笛畝コレクションの名品、犬宮が登場!



犬宮 江戸時代 当館蔵

次回展示会のご案内

企画展「描かれた雛祭り」(仮)
会期：2023年1月28日〔土〕～
3月19日〔日〕
当館恒例の雛祭りの展示会。今回は古典の雛人形や、雛人形が描かれた浮世絵等を展示します。



「豊歳 五節句ノ遊」
上巳の節句 歌川国貞
天保14～15年（1843～44）頃

【申込方法】

往復はがきに、①参加希望イベント名、②参加者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、④電話番号を明記のうえ、当館までお送りください。
＊往復はがき1枚につき、2名1イベントずつ応募可能。
＊小・中学生の場合は、⑤学年、⑥保護者氏名(ふりがな)もご記入ください。

③ 学芸員による展示解説

日時：10月8日〔土〕、30日〔日〕、11月19日〔土〕
午後2時～ 各回30分程度
＊申込不要、要観覧券。当日展示室前にお集まりください。
＊参加人数を制限する場合があります。

＊展示会及び各イベントの予定は、都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

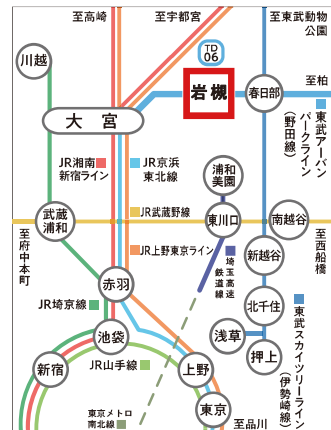


〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1
Tel. 048-749-0222 Fax. 048-749-0225 <https://ningyo-muse.jp/>

＊当館は新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでおり、入館を制限する場合がございます。最新の開館状況はホームページをご覧ください。
＊このチラシは30,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約7円です。

イベント情報

＊本展会期中、着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料が無料となります(着物で岩槻)。
＊ワークショップ「つくりう、ポチ袋」を、11月27日〔日〕に開催します。詳しくは当館ホームページをご覧ください。



【交通案内】

＊電車をご利用の場合：東武アーバンパークライン（野田線）「岩槻駅」から徒歩約10分 ＊大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。
＊車をご利用の場合：東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分 ＊駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。